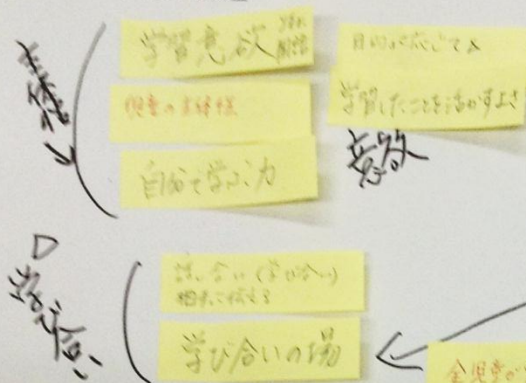


① 実態把握シート

A 班

学校の課題



学習規律 話す・聞く

学習規律(聴く)

話す聞く

中間層の底上げ

全児童の学びの実態を

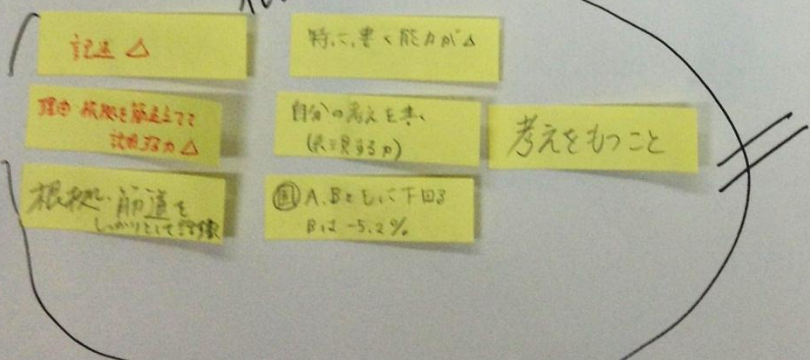
授業の流れめざす 授業像

学習の流れの確立

めざす授業像の明確化

ベテ学習 → 学びを深める ために

かき 児童の記述力 根拠



「考え方」の認同に55%

原則計算の意味理解

課題をまとめると... (5)

- △ 主体性・意欲
- 学習規律
- ・ 学び合い・表力(書力) → 活用する力が不十分

めざす 徹 授業像



研究主題 主体的に <del>学ぶ</del> <sup>考え</sup> 、学び合う子の育成～ <u>根拠や筋道</u> を <del>通</del> <sup>明確にして</sup> 表現 <del>する</del> <sup>する力</sup>	
研究教科 小学校:国語・算数	中学校:全教科 そ育てる～
目指す子供の姿 <ul style="list-style-type: none"> <li>主体的に学び、<u>根拠や筋道</u>を明確にして表現する子。</li> <li>友だちとかわり合いながら学びを深める子。</li> </ul>	目指す授業像 <ul style="list-style-type: none"> <li>考えたい課題の設定</li> <li><u>根拠を明確にして表現する場の設定</u></li> <li>学び合を深める場の設定</li> </ul>
研究の重点(柱) 2つ～3つ A 授業改善 B <del>「話し合い」</del> 学びの基盤作り(規律・話す・聞く)、家庭学習習慣、ノート作り) C 環境整備	
A: 授業改善の視点(3つ程度) ① ② ③	

※以下は、上記の重点A:「授業改善の視点」の中から1つまたは2つ選び検討してください。

A: 授業改善の視点に対する教師の具体的手立て

2番

- キーワードを与えて根拠を明確にして表現する方法の提示、  
表現のためのモデルを提示
- 誤答の提示、不完全な解答や考え、比較選択させる。
- 書く時間や場の確保、ノート指導

A: 授業改善の視点に対する教師の具体的手立て

3番

- ペア、グループでの学習形態の工夫(見合い) ~~説明の再現~~
- めざす授業像の共有(互見授業)
- 発問の工夫
- 話し合いの目的の明確化
- 授業設計の工夫(効果的を話し合いの場の工夫)

③ 計画シート

A 班

家庭学習の紹介  
発行

月	内容
4月	研究方針の提案 目指す授業像の共通理解 学力向上プランの策定 学力調査の自校採点
5月	講師招聘 提案授業 児童の授業交流 学力調査問題の出題傾向の把握
6月	模擬授業 研究授業 ノート展示
7月	研究授業
8月	研究の見直し → 話す聞く姿の 改善 掲示 学力調査の結果分析
9月	研究授業 学力向上プランの見直し
10月	要請訪問 児童の授業交流
11月	研究授業 ノート展示
12月	検証
1月	
2月	次年度の計画
3月	